

KOMAstyle

News and Magazine of KOMA High School

11月号 VOL.71

楽しみながら学ぶ、それが『巨摩スタイル』。



創立100周年記念式典 特集号

巨摩高校の新世紀に 伝統と文化の華を開かせて



特集...Special edition

- 創立100周年記念式典 開催
- 全国・関東大会での活躍 / 第69回白嶺祭
- 新制服決定 / 生徒会発足 / 理数創造コースの黒部研修



巨摩高校は
創立100周年を迎えました

新しい制服が決定しました!

校内で生徒や先生方の意見を募ったり、学校説明会で中学生の皆さんや保護者の方々に投票をお願いしたりして、長い時間をかけて検討を重ねてきた新制服のデザインが決定しました。令和6年度からの導入となりますのでぜひ御期待ください。(細かな部分の変更の可能性があります。従来の詰襟・セーラータイプの制服も着用可能です。)



新制服



冬服



夏服

理数創造コースの 黒部研修

【エネルギー教育推進事業】

8月29日(火)、理数創造コースの生徒が黒部研修に参加しました。一行は長野県の大町エネルギー博物館に行つて、各種実験装置や模型などを通してエネルギーの基礎を学んだ後、トロッポバスで黒部ダムに移動。生徒は事前にダム建設を学んで臨みましたが、実物は想像以上に巨大で、大迫力の放水に皆圧倒されました。ダムを建設した人間の力、そしてこれだけの物を作らないと賄えない電力。姿かたちを変えるエネルギーの不思議について学んだ1日となりました。



新 生徒会 発足



9月8日(金)の生徒会役員選挙の結果、新生徒会長には仲井響樹くん(甲西中学校出身)、新副会長には井上万千さん(若草中学校出身)と石川 葵さん(若草中学校出身)が選出されました。新生徒会の活躍に期待しましょう。



新生徒会より

新生徒会長 仲井 響樹(甲西中学校出身)
皆さん、こんにちは。このたび生徒会長になりました仲井響樹です。私は小・中学校を通じて、生徒会役員、ましては生徒会長などといった表立った役職とは一切無縁な人間でした。そのため、生徒会長という今の自分の立場に少し不安も感じています。しかし、そうしたある種、新参者の私だからこそ、先輩方から受け継いだ熱い思いに加え、本校の生徒会に新たな展開を見せることができると思っています。至らぬところもあるとは思いますが、高校生らしく、失敗を繰り返しつつも成長して頑張っていこうと思っています。新生徒会役員一同を応援よろしくお祈りします。

No.039
巨 | 摩 | 高 | 百 | 景

「美しい歌声を」
音楽部はふだん芸術棟2階の音楽室で活動をおこなっています。総勢13名が奏でるハーモニーはとても美しく、いつまでも聴いていたくなるような気がしてきます。現在、県芸術文化祭に向けて一生懸命練習に励んでいますので、ぜひ皆さんで応援しましょう。また芸術棟に寄った際には耳を傾けてみてください。綺麗な歌声がきっと聞こえてくるはずです。
写真部 秋山 安寧(櫛形中学校出身)

巨 摩 高 だ よ り
KOMAstyle VOL.71

- 発行...山梨県立巨摩高等学校
〒400-0306 山梨県南アルプス市小笠原1500-2
TEL.055-282-1163 FAX.055-282-1104
- 発行日...令和5年11月2日
- 編集...山梨県立巨摩高等学校 総務・広報部
- 撮影協力...山梨県立巨摩高等学校 写真部

巨摩高校のコト、もっと知りたくなったら、ホームページにアクセス!!

巨摩高校 検索 URL...<http://www.ko.kai.ed.jp/>
E-mail...info@ko.kai.ed.jp

～今こそ放て そのかおり～ 全国・関東大会での活躍

女子ホッケー部

特別国民体育大会 関東ブロック大会1位通過
特別国民体育大会 出場

「かごしま国体を振り返って」

ホッケー部 初鹿 想(白根巨摩中学校)

私たちホッケー部は、6月のインターハイ予選で敗れてから、本国体出場を目標に日々練習に励んできました。インターハイに出場できない悔しい思いをバネに、先生やコーチの指導のもと、着実に力をつけてミニ国体に挑みました。本国体を懸けた決勝では、今まで勝つことができなかった栃木との戦いでしたが、最後まで諦めず、全員守備・全員攻撃で勝つことができ、本国体への出場を決めました。本国体の目標はベスト4だったのですが、勝ち切ることができず、悔しい思いが残りました。この思いを忘れず、私たち3年生は12月に控える最後の大会に向けて、悔いの残らないようにラストスパートで頑張っていきます。応援よろしくお願いします。



弓道部 女子

関東高等学校弓道個人選手権選抜大会 女子個人 準優勝

「仲間」

弓道部 山本 菜菜(甲西中学校出身)

私は8月の県予選で代表権を獲得し、9月に明治神宮で行われた関東個人選手権大会に出場しました。本戦までの練習期間では思い通りの弓道ができず、不安や焦りを感じることもあり。大会当日も慣れない環境下で弓を引くことにプレッシャーや戸惑いを感じました。しかし、共に切磋琢磨してきた仲間たちが私を支えてくれたことを思い出し、落ち着いて自分の射をすることができ、準優勝という納得のいく結果を残すことができました。今回の経験を生かし、次は団体が関東大会や全国大会に出場できるよう精進していきます。今後も弓道部への応援をよろしくお願いします。



陸上競技部 男子

全国高等学校総合体育大会 出場
5000m 内堀 勇(城南中学校出身)
110mH 牛山 敦貴(白根巨摩中学校出身)

「インターハイ、そして駅伝大会に向けて」

陸上競技部 内堀 勇(城南中学校出身)

私は長距離の仲間とともに、3年間厳しい走り込みを続けてきました。チームとしては全国高校駅伝大会出場を、個人としては今年が最後のチャンスだったのでインターハイ出場を目標に掲げて頑張ってきました。地元・山梨で行われた関東大会では、日頃の努力が実を結び、5000mで準優勝することができ、北海道インターハイの出場権を獲得することができました。強い気持ちをもって臨んだインターハイでは、決勝に進出できたものの、最終的には16位という結果に終わってしまいました。次は仲間とともに出場する高校最後の駅伝大会。全国大会に出場できるよう、残された期間を全力で練習に打ち込んでいきたいと思っています。



創立100周年記念式典 開催



9月23日(土)に本校体育館において、創立100周年記念式典が開催されました。式典には多くの来賓の方々の御臨席を賜り、校長式辞、実行委員会会長挨拶、県教育長御祝辞の後、オリンピックホッケー競技に3度出場の藤尾香織氏や、陸上400mハードルでオリンピック出場の野沢啓佑氏を特別功労者として表彰したほか、本校に功績のあった

方々に感謝状を贈呈しました。記念講演では本校OBで元太平洋セメント代表取締役社長・現相談役の福田修二氏から在校生に向けてお話をいただきました。午後の記念コンサートでは、本校OBの志村糧一氏が所属する男性オペラ歌手ユニット「THE LEGEND」の歌声を聴き、楽しい一時を過ごしました。



100周年記念式典を終えて
生徒代表 フナキ 夏恋
(八田中学校出身)

1年前から準備を進めてきた創立100周年記念式典が、多くの来賓の方々、同窓生の皆様、先生方と在校生で1つになって盛大に執り行えたことに、生徒会長(式典当時)として安堵の思いでいっぱいです。式典では、日頃お世話になっている学校関係者の皆様のお顔を拝見することができ、改めて巨摩高校の歩んできた道のりと、巨摩のはらからとして受け継がれてきた「100年」という伝統の重みを実感することができた1日となりました。こうして同じ時、同じ場所に一堂に会することができたのは本当に喜ばしいかぎり、記念講演をしてくださった福田修二様をはじめ、多くの先輩方が日本の成長に影響力のある仕事をされてきたということに、後輩である私も希望をもって社会に一步を踏み出す勇気をいただきました。これからも本校で学んだことを自身の糧として、学び舎を巣立った後も巨摩高生としての誇りを胸に誠実に歩を進めていきたいと思っています。

「巨摩の歴史、次の百年へ」

校長 渡邊 圭一郎

九月二十三日に巨摩高校創立百周年記念行事が多くのの方々の御協力の下、盛大に挙行されました。本校は大正十一年九月二十一日に山梨県立第三高等女学校として設置が許可され、翌年一〇一名の生徒が入学し、柳組と桜組の二クラスで開校いたしました。大正十三年には山梨県立巨摩高等女学校となり、赤い屋根のモダンな新校舎と寄宿舎が現在地に完成します。当時制服は無く着物にバンドを締め、そのバックルが徽章となっていました。登校時に富士川を渡し船で渡つたとの記述もあり、第二代校長 藤浪国途先生の文章によると、女子が自転車に乗ることに批判があった時代で、自転車通学を許可する困難さが語られています。女性の教育が遅れていた時代に、女子教育の最先端を走り、社会進出を後押ししていたことが推測できます。昭和二十三年には山梨県立巨摩高等学校となり定時制課程も設置され、二年後には男子の一期生が入学します。その後、普通科・商業科・家庭科の総合学科高校の時代を経て、普通科のみ一学年六百四十名のマンモス校となつていきます。部活動や行事が盛んで、町を練り歩いた学園祭の仮装行列には多くの方が集まるなど、地域と共に学校は歩んで参りました。その後も各部の全国制覇や甲子園出場、オリンピック選手の出場等、数々の輝かしい歴史を築いております。社会に輩出した優秀な人材は三万名を超えるまでになり、記念式典でお話を頂きました、財界の福田修二様、オリンピックの藤尾香織様、音楽家の志村糧一様を初め、様々な方面での同窓生の活躍は目を見張るものがあります。今後ともそのような優秀な人材を育成できますよう、本校は、次の百年に向け新たな挑戦を続けます。学校の前庭にある「考える人」風のこころの像や校訓「進修実践」の碑のように、生徒達が思慮深く自由な心を持って活動し、持てる力を存分に発揮できる教育を推進していきますので、今後とも御支援と御協力を頂きますよう、よろしくお願い申し上げます。

第69回白嶺祭「桜花爛漫～咲き誇れ 巨摩魂～」

保護者公開復活& 3-4-2-4-1-4が 学年1位を獲得!

「数年ぶんの爆発」

学園祭実行委員長 沢登 一心(楯形中学校出身)

今年度の白嶺祭は、新型コロナウイルス感染症の規制が緩和され、やっと落ち着いた形での開催となりました。ここ数年の学校生活はいろいろと制限がかかって少しモヤモヤしていたと思います。そうした気持ちを爆発させるかのように、全校生徒が大きな盛り上がりを見せてくれました。クラスパフォーマンスやクラス企画では、全学年とも準備期間が短かったにもかかわらず、レベルの高いものが披露され、心から楽しんでいる姿を見ることができました。その真剣な取り組みに、会場全体が笑顔に包まれていたのが印象的で、数年間我慢を強いられたものの、今年こんなに楽しくできたから良いかなと思えるくらいの学園祭となりました。後輩の皆さんには、来年も楽しく笑顔のあふれる最高の学園祭を作り上げてほしいと願っています。

